



木造大日如来座像

木造大日如来座像

昭和五十三年二月 村重要文化財指定

所在地 新鶴村大字佐賀瀬川字西屋敷八六一

(興隆寺 大日堂)

管理者 佐賀瀬川部落(興隆寺)

「弘仁元(八一〇)年 海師(空海)大沼郡逆瀬川邑ニ黒岩山興隆寺ヲ建テ 白山権現ヲ崇ス 大日・不動両像ヲ安ズ」(会津旧事雑考)とある。

文安二(二四四五)年、別に大日如来(作者不詳)を共座させた。

その後天文三(一五三四)年三月二二日、大沼郡三島町入間方の横雲山高野寺の前坪山より、空海作の大日如来が逆瀬川村の大日山に移ったと伝えられている。

天正年間火災により寺は廃頽したが、村の住人梅原弥左衛門が古材を貰受けて御堂(大日堂)を建て、現在地に移祀した。

(温故拾要抄には元和三(一六一七)年とある)元和七(一六二二)年には弥陀如来と大日如来の二像が紛失したという。

大日如来座像の像高五三センチ、台座四〇センチ。

玉眼と白毫が失われており、文安二年の墨書銘がある。

脇侍右不動明王、脇侍左地藏菩薩。